SHIRASAGI

機能リファレンス「ログイン・個人設定」

v1.20.2
2026年8月7日更新

目 次

概要 3

ログイン 3

ワンタイムパスワードの設定 5

例：Microsoft Authenticator を使用して設定 9

個人設定 11

パスワード変更 11

個人設定の変更 13

表示文字サイズの変更 14

ユーザーファイル 15

新規登録 16

編集・リサイズ・削除 17

ログアウト 19

自動ログアウトと自動バックアップについて 20

概要

ユーザーID とパスワードを使用して CMS にアクセスします。
ログイン後は、ユーザーに設定された権限に応じて、各機能を利用できます。

ログイン

シラサギの管理画面にログインする方法を説明します。

(1) GoogleChrome、Edge などのブラウザで上記の管理画面ログイン URL にアクセスします。

管理画面ログイン URL：https://demo.ss-proj.org/.mypage/login

※オンラインデモ（クラウド環境）の管理画面の場合

(2) 下記のようなウィンドウで、BASIC 認証ログイン画面が表示された場合は、[ユーザー名][パスワード]を入力して「ログイン」をクリックします。
※SHIRASAGI 管理画面ログイン時の[ユーザー名][パスワード]とは異なります。

【Chrome の BASIC 認証画面】

【Edge の BASIC 認証画面】

※ただし、一度ログインしてパスワードを保存済みの場合や、サーバーの設定により、BASIC 認証が表示されない場合があります。

(3)　SHIRASAGI 管理画面へのログイン画面が表示されます。

[ユーザーID またはメールアドレス]と[パスワード]を入力後、[ログイン]をクリックします。

※ログインアカウントについては、システム管理者にお問い合わせください。

(4)　ログインすると、管理画面トップページが表示されます。

ワンタイムパスワードの設定

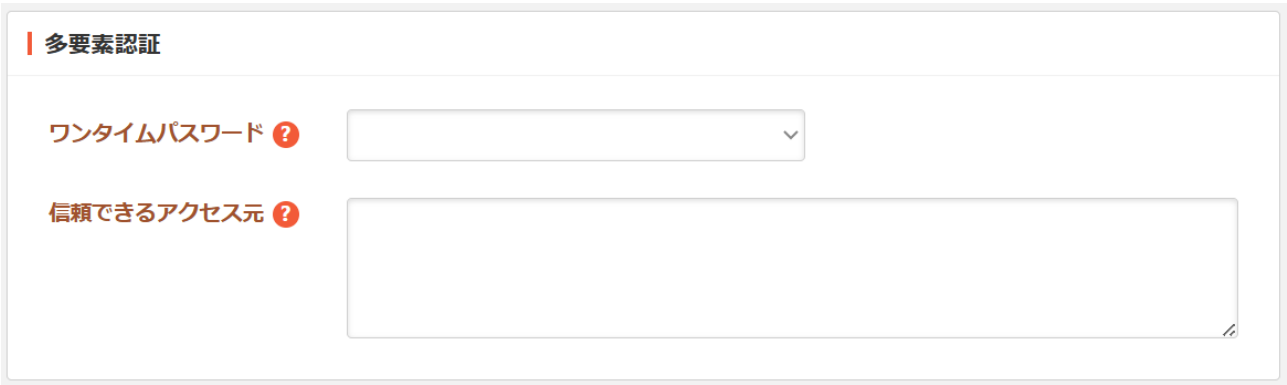
ログイン時にワンタイムパスワードの入力を求めることができます。

(1)　ログイン後、左メニューの「システム設定」をクリックします。

(2)　システム設定画面、左メニューの「認証」をクリックします。

(3)　認証画面、左メニューの「設定」をクリックし、設定画面で「編集する」をクリックします。

(4)　「多要素認証」セクションにてワンタイムパスワードを設定できます。



ワンタイムパスワード	ワンタイムパスワードを使用するかどうかを選択します。 ・使用しない: ワンタイムパスワードを使用しません。 ・使用する: ワンタイムパスワードを使用します。 ・アクセス元が信頼できない場合に使用する: アクセス元が信頼できない場合にワンタイムパスワードを使用します。 信頼できるアクセス元を次項の「信頼できるアクセス元」に設定します。

	ワンタイムパスワードはフォーム認証時に適用されます。 外部の認証サーバーからのシングル・サイン・オン時には適用されません。 外部の認証サーバー利用時にワンタイムパスワードを利用したい場合、外部の認証サーバー側でワンタイムパスワードを用いるように設定してください。
信頼できるアクセス元	信頼できるアクセス元として IP アドレスを設定します。 ワンタイムパスワードの使用に「アクセス元が信頼できない場合に使用する」を選択した場合にアクセス元が信頼できるかどうかの判定に使用します。 複数の IP アドレスを設定する場合は、改行で区切って設定します。 ″192.168.10.0/24″ や ″192.168.10.0/255.255.255.0″ のようなネットワークアドレスも設定することができます。

(5) ワンタイムパスワードの設定後、「保存」をクリックします。

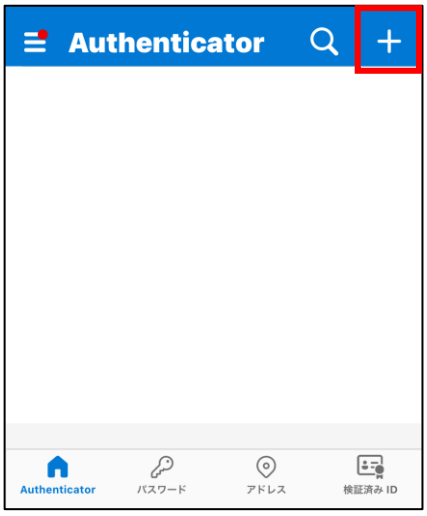
設定後は認証アプリでパスワードを生成してログインする必要があります。

スマートフォンかタブレットに「Microsoft Authenticator」や「Google Authenticator」などの認証アプリをインストールしてください。

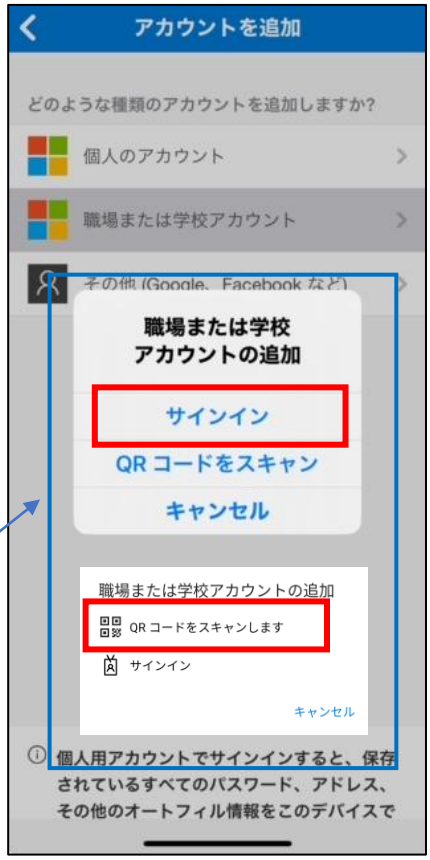
例：Microsoft Authenticator を使用して設定

(1) Microsoft Authenticator アプリを開いて、

右上の「＋」ボタンから QR コードを読み取ります。



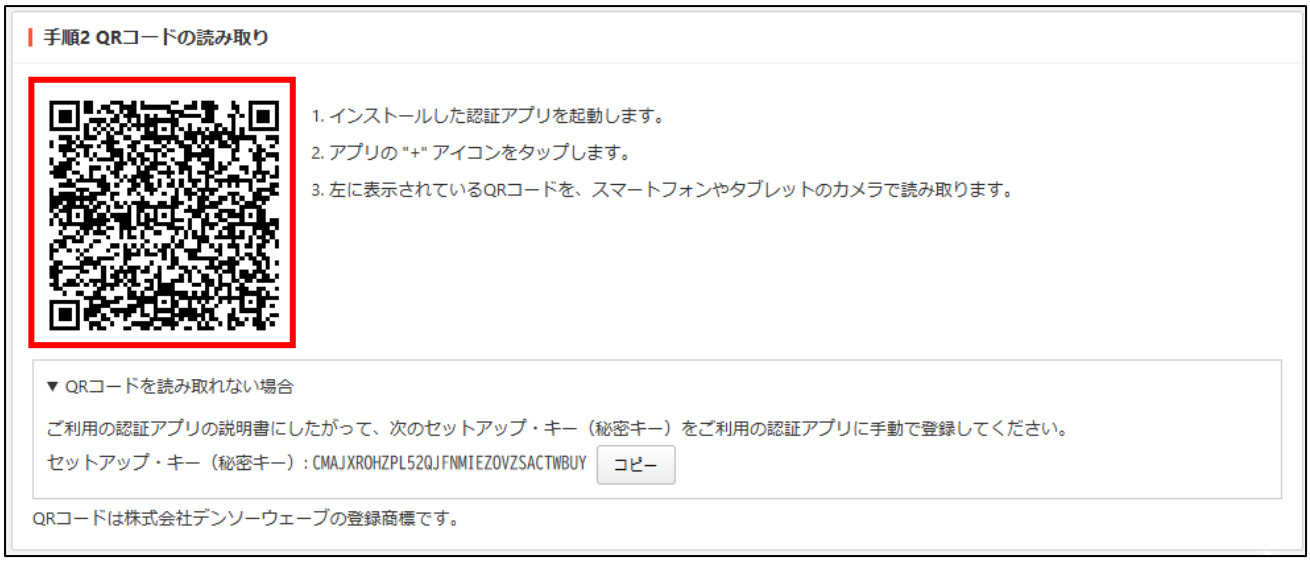
(2) 「個人のアカウント」または「職場または学校のアカウント」をタップすると、メニューが表示され「QR コードをスキャン」をタップするとカメラが起動されます。



上：iPhone 端末

下：android 端末

(3) グループウェアで表示されている QR コードを読み込むと、Microsoft Authenticator アプリにアカウントが追加されます



(4) Microsoft Authenticator に表示されている 6 桁の数字を入力しログインしてください。

個人設定

画面右上のログインユーザー名をクリックして表示されるメニューからパスワード変更等、個人設定を行うことができます。

パスワード変更

(1)　管理画面トップの左サイドメニュー「アカウント」をクリックします。

(2)　ログインアカウントの情報が表示されます。「パスワード変更」をクリックします。

(3)　「現在のパスワード」と「新しいパスワード」「新しいパスワード(入力確認)」を入力し、「保存」をクリックすると、パスワードを変更できます。

個人設定の変更

パスワード以外「氏名」「カナ」「メールアドレス」「電話番号」「内線番号」の個人情報の変更が可能です。

(1) アカウント情報画面で、「編集する」をクリックします。

(2) 変更したい項目を入力し、「保存」してください。

表示文字サイズの変更

初期値では標準サイズ（100）で設定されている文字サイズを変更することができます。

(1)　管理画面右上の「ログインユーザー名」をクリックします。

プルダウンメニューが表示されます。

(2)　文字サイズの「＋」「―」で大きさを調整します。

「標準」をクリックすると、100 に戻ります。

ユーザーファイル

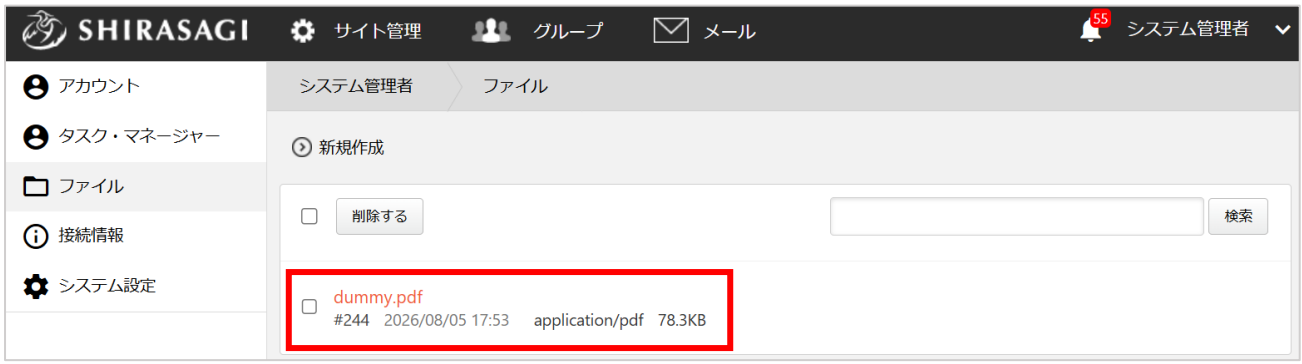
ユーザーファイルでは、記事作成時に利用するファイルをあらかじめアップロードして管理できます。
繰り返し使用する画像やファイルを登録しておくことで、記事作成時に利用できます。

(1)　管理画面トップで左サイドメニュー「ファイル」をクリックします。

(2)　アップロードされているユーザーファイルが一覧表示されます。

(1)　「新規作成」をクリックします。

(2)　「ファイル選択」をクリックし、ファイルを選択後「保存」するとアップロードされます。



(1)　「編集」「リサイズ」「削除」したいファイル名をクリックします。

(2)　ファイルの詳細画面で「編集する」をクリックします。

(3)　ファイルの詳細画面で「リサイズする」をクリックします。

(4)　ファイルの詳細画面で「削除する」をクリックすると、確認画面が表示されます。

「削除」をクリックするとファイルが削除されます。

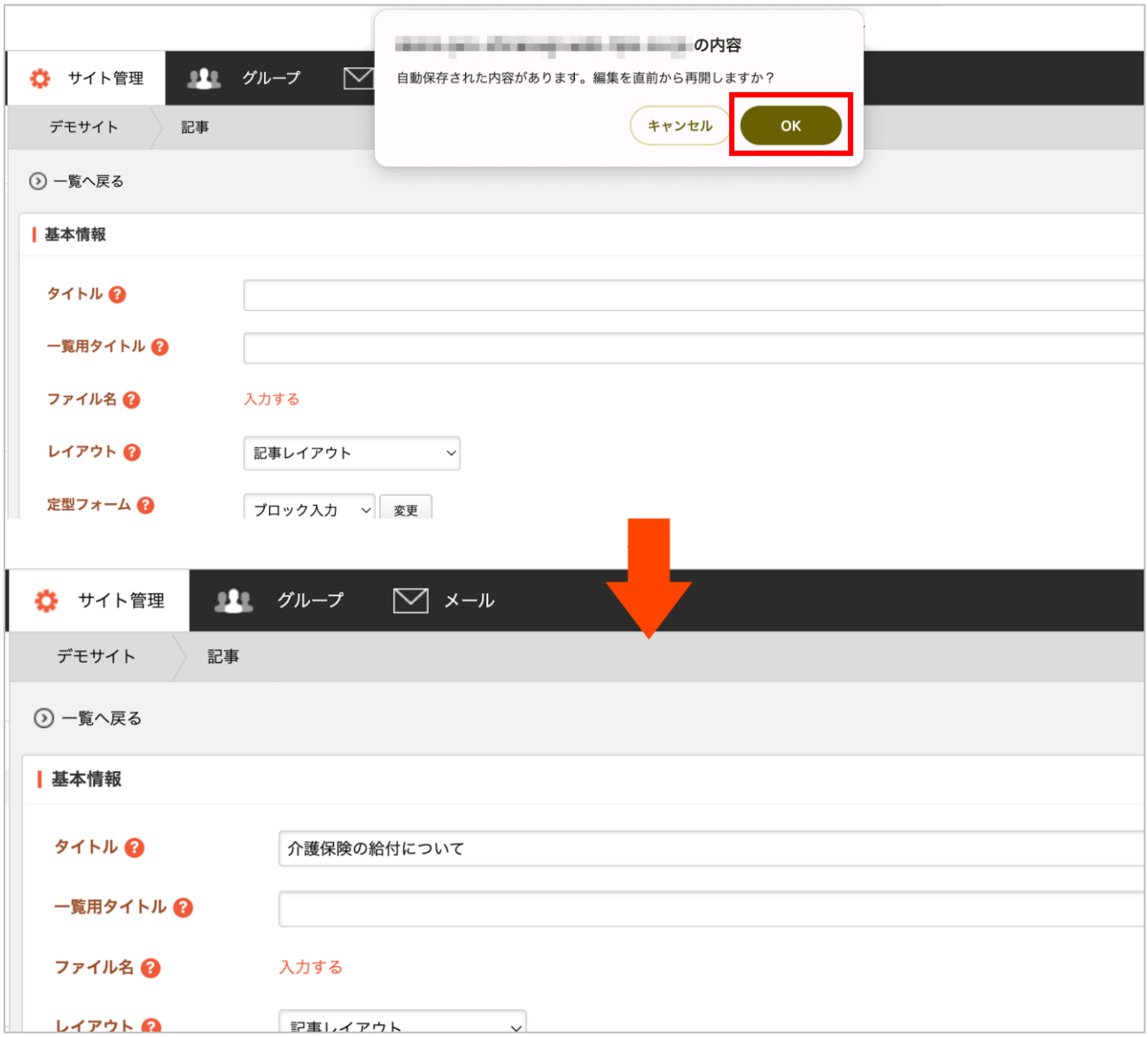
ログアウト

(1)　管理画面右上の「ログインユーザー名」をクリックします。

　　プルダウンメニューが表示されます。

(1)　表示されたプルダウンの「ログアウト」をクリックすると、ログアウトできます。

自動ログアウトと自動バックアップについて

記事の編集に時間がかかった場合や、PC の電源が落ちてしまった場合のセッションタイムアウト等により途中まで入力していた記事の内容を復旧させることができます。

再度 SHIRASAGI にログインし、新規作成中の記事の場合は「新規作成」を、既存記事の編集中の場合は該当の記事を開いて「編集する」をクリックします。
下記画像のようにアラートが表示されますので、「OK」をクリックすると途中まで入力した内容が復元されます。
（「OK」をクリックした後、入力内容が復元されるまでに数秒かかる場合があります。）